



第18回 キラキラッとアートコンクール優秀賞

Focus Vol.67

長洲町でキラリ輝く人たち

松永 隼太郎くん (11歳 鷲巣)



▲作品名「ニンジン たくさん とれたよ!」

独特なタッチで作品を表現

荒尾支援学校に通う小学6年生の松永隼太郎くん。幼いころから絵を描くことが大好きで、毎日たくさんの絵を描いている。

「ニンジン たくさん とれたよ!」。この作品は、学校の畑で育てたニンジンを描いたもの。鮮やかな緑色の葉っぱを付けた、大きささまざまな大きさのニンジンが描かれており、背景は黄色で、よりニンジンが引き立つように描かれている。自身の爪で作品に傷をつけ、ニンジンの質感を表現するなど数々の工夫が詰め込まれた作品となっている。

多数の作品の中から

見事優秀賞を受賞

隼太郎くんが作品を応募したキラキラッとアートコンクールは、三菱地所株式会社主催。障がいのある子どもたちの可能性を応援したいとの想いで平成14年から行われている。このコンクールをきっかけに、子どもたちが絵を描くことをますます好きになり、笑顔や自信を育み、才能や可能性が広がっていくことを願って開催されており、毎年多くの作品が応募される。

隼太郎くんは、昨年7月1日から9月4日の期間で開催された「第18回キラキラッとアートコンクール」に

出展。全国各地から1,388点もの応募があった。1次審査で、4人の審査員による審査が行われた後、三菱地所グループの社員266人による審査などで156点まで絞られた。最終審査では、画家やデザイナーなど6人によって行われ、優秀賞50点に隼太郎くんの作品が見事選ばれた。その中でも、隼太郎くんが描いた作品の原画は、三菱地所(株)および三菱地所グループの受付エリアや応接室などに展示されるなど、特に評価を得ており、多くの人を魅了していることだろう。

私たちへのメッセージとして

大切に受け止めたい

7月13日、隼太郎くんは、お父さんの幸快さんとお母さんの加奈子さんとともに、中逸博光町長に受賞の報告をした。報告を受けた中逸町長は、「隼太郎くんの受賞は、障がいを持つ人たちの励みになる。本当に素晴らしいことで、大変うれしく思います」と町民を代表して敬意を表した。

隼太郎くんの活躍に幸快さんと加奈子さんは、「絵を描くことで心や体を表現してくれているので、私たちへのメッセージとして大事にしていきたい。好きなことを楽しめるような人生を過ごしてほしいです」と隼太郎くんへ熱いエールを送った。